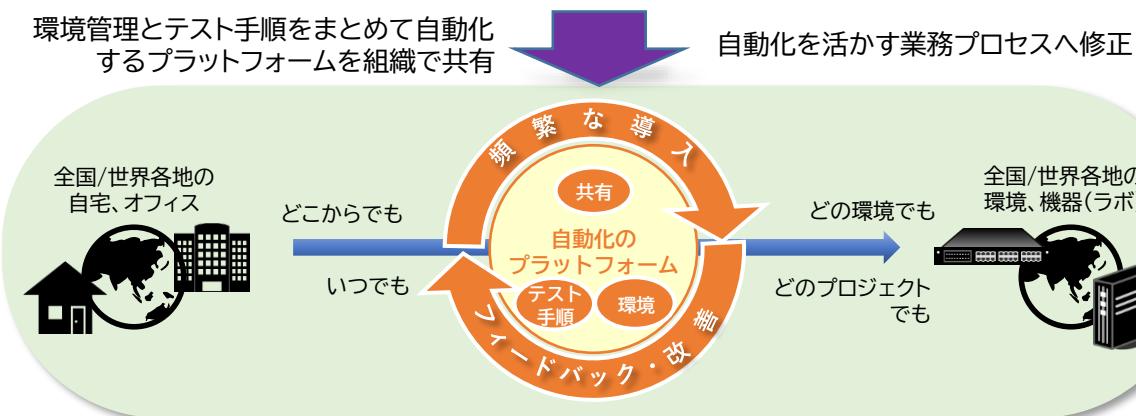
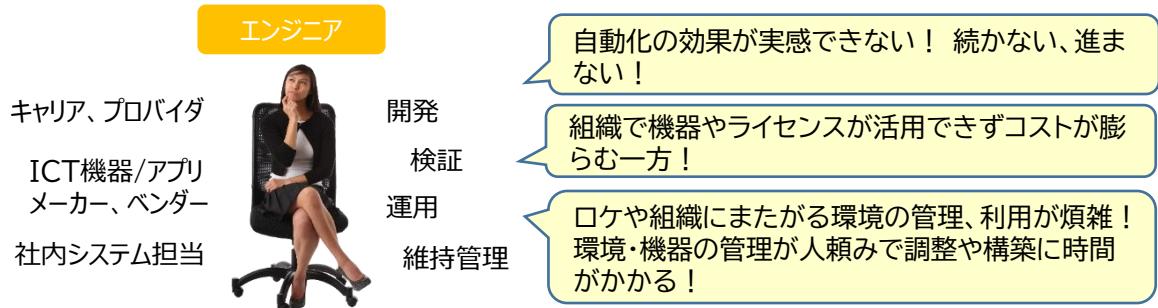


## 現場個別に進める従来型の自動化では限界が見えてきます！

NTTグループでの実績を基に進化した検証/運用自動化ソリューション2.0+が自動化の効果と持続性を向上し、コスト、スピードと資産利用を組織規模で改善します！

DXの普及や高機能化を続けるICTシステム開発は、一層のコスト削減に加え、品質の確保や迅速な対応を求めています。機能が充実した自動化ツールが種々登場しテスト自動化への取り組みも増えていますが、新たな課題に直面しています



「検証/運用自動化ソリューション」は、テスト・検証の機器・環境をICTで管理し自動化の範囲を従来のテスト手順からICT機器・環境の構成管理まで広げるとともに、組織共通の枠組み(プラットフォーム)にして特定の人のノウハウに頼らない状況を作ります。これらは、自動化の効果拡大と持続性を実現し、更に導入の頻度を上げ開発の品質とスピードを向上させる業務プロセスへの変革を可能にします。

### ポイント

1

#### 持続可能な自動化

ノーコード・ローコードや普及OSSにより組織共通のテスト自動化の枠組みを実現することで、自動化を相互利用しやすくして持続性を高めます。

2

#### 幅広い業務と組織で効果

テスト手順と環境管理・構築をまとめて自動化し組織で共有することで効果の範囲を広げます。導入を頻繁に行う業務プロセスの適用により開発のスピードや品質の向上も期待できます。

3

#### 見落としがちなコストと時間の無駄を一気に解決

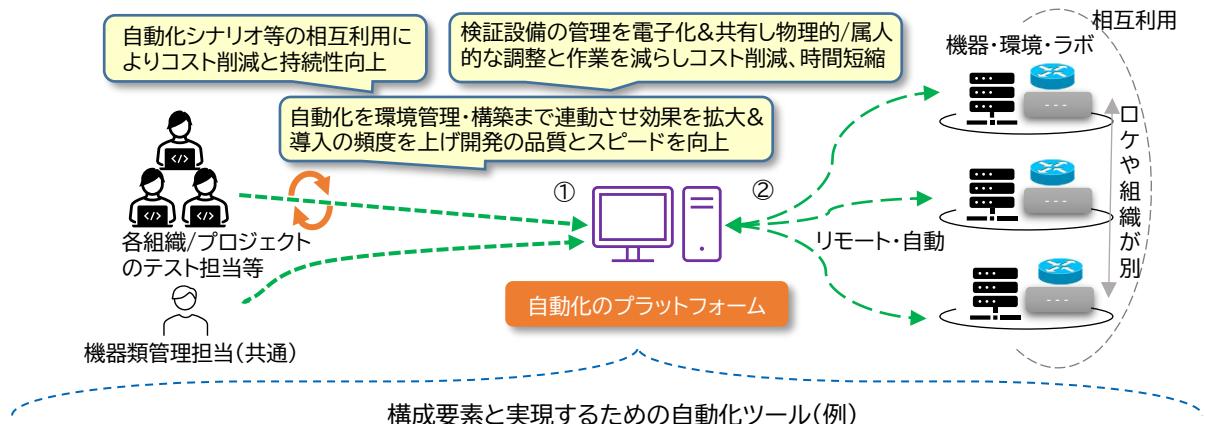
エクセルによる環境管理、結線変更等の現地作業や特定の人に依存した管理・調整業務をオンライン化/自動化しコストと時間を大幅に削減します。

## ソリューションの概要

- 現状
- ・テスト自動化:組織やプロジェクト個別に作成・管理(利用ツールもバラバラ)
  - ・機器・環境・ラボ:個別に人手で管理、自動化・リモート化の対象外、相互利用なし

本ソリューション適用

- 適用後
- ・テスト自動化:組織やプロジェクト間で統一の枠組みで運用(①)
  - ・機器・環境・ラボ:仮想的に一体化し相互利用、テスト自動化と連動した自動化・リモート化(②)



構成要素	内容	パターン1 自動化ツール	パターン2 自動化ツール
テスト手順の自動化手段	ノーコード・ローコード/普及OSSの自動化ツールを利用し維持管理しやすい自動化を推進	iTest <sup>*2</sup> /Ranorex <sup>*3</sup> (ノーコード/ローコード)	Robocorp Library <sup>*1</sup> / Python <sup>*1</sup>
	継続的インテグレーション/デリバリー、版管理	Git <sup>*1</sup> /Jenkins <sup>*1</sup>	
機器/環境の構成管理基盤	機器の設定をリモート・自動で実施	Velocity <sup>*2</sup> (ノーコード/ローコード)	Ansible <sup>*1</sup>
	機器やラボの構成管理、予約や利用調整等をリモート・自動で実施		同左
組織・プロジェクト間での共有手段	複数の組織/PJがテスト/検証とその自動化作業を共通の基盤で実施しリソースと成果を共有	同上	同左

パターン2: 自動化の条件(プログラミングスキル等)や範囲を絞って一部にOSS等(表中\*1)を活用しライセンス費用を抑制することも選択肢

\*2 Spirent Communications社製 (製品名称) iTest: Velocity iTest, Velocity: Velocity Core

\*3 Ranorex社製

## NTT-ATが提供するサービス項目

サービス項目	内容
テスト手順自動化の支援	自動化ツール販売やシナリオ作成に加え、実際に効果を得るために自動化範囲、方法の検討や自動テストの運用まで幅広く支援
自動化のプラットフォーム導入に向けた支援	テストの環境管理や手順をまとめて自動化し組織で共有するプラットフォームのSIやツールを販売 <ul style="list-style-type: none"><li>・環境(ラボ)構成管理基盤の導入</li><li>・テスト手順と環境の一体的自動化の導入</li><li>・環境と自動化資産の共有の実現</li></ul>
業務プロセス見直しの支援	自動化プラットフォームを活かし開発の品質向上と時間短縮をもたらす業務プロセスへの変革を支援

## 適用事例

### プロードバンドルータの受入テストの自動化

機器/環境の予約・トポロジ変更、およびテスト作業における60%の工程を自動化。自動化シナリオの運用性向上、ミスによる手戻りの削減、作業品質の向上に加え、管理表メンテナンスからの解放、作業状況把握など付随業務の効率向上にも効果。

お問い合わせ

[https://www.ntt-at.co.jp/product/ipcc\\_sol/](https://www.ntt-at.co.jp/product/ipcc_sol/)

NTTアドバンステクノロジ株式会社

ソーシャルプラットフォーム・ビジネス本部IOWNプラットフォームビジネス部門  
〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-19-18 武蔵野センタービル

※記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。

2025年4月